

中央新幹線 第一首都圏トンネル新設(北品川工区)
シールドトンネルにおける安全・安心等の取組みに関する説明会



令和3(2021)年6月8日(火) 14:00～
於：きゅりあん大ホール

東海旅客鉄道株式会社
中央新幹線第一首都圏トンネル新設
(北品川工区)工事共同企業体

本日の説明会の主旨

- ・ 中央新幹線品川・名古屋間の建設は、平成26(2014)年10月の工事实施計画認可以降、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら順次工事を進めております。東京都区内では、現在、品川区北品川に設けた非常口においてシールドトンネルを掘り始めるために必要な準備を進めているところです。
- ・ 先般、東京外かく環状道路(関越～東名)(以下、「東京外環」という)の大深度地下シールドトンネル工事において、地表面の陥没事故が発生しました。その原因として、東京外環全線の中でも「特殊な地盤条件となる区間」における「施工に課題があった」ことが報告されています。
- ・ 中央新幹線では、シールドトンネルの掘削にあたり、東京外環で発生した事故に対する再発防止対策等を含め、必要な安全対策を確実に実行し、地上の土地利用に支障が生じないよう、工事を安全に実施し、計画路線周辺にお住まいの皆様にご安心してお過ごしいただけるよう、取り組んでまいります。
- ・ 本日は、こうしたシールドトンネルにおける安全・安心等の取組みについて、東京都区内の中央新幹線計画路線周辺にお住まいの皆様にご説明いたします。

※シールドトンネルの掘進工事にあたりましては、別途改めて、工事説明会を開催し、計画路線周辺にお住まいの皆様にご説明いたします。

説明内容

1. 中央新幹線計画の概要
2. シールドトンネル工事とは
3. 東京外かく環状道路での陥没事故について
4. 中央新幹線のシールドトンネル工事の安全について
 4. 1 東京都区内の計画路線の地質
 4. 2 工事をより安全に実施するための取組み
5. 計画路線周辺にお住まいの皆様に安心してお過ごしいただけるように
 5. 1 工事の安全を確認する取組み
 5. 2 生活環境の保全に関する取組み
 5. 3 工事情報を適時お知らせする取組み
6. 今後について
7. ご連絡先

説明内容

1. 中央新幹線計画の概要
2. シールドトンネル工事とは
3. 東京外かく環状道路での陥没事故について
4. 中央新幹線のシールドトンネル工事の安全について
 4. 1 東京都区内の計画路線の地質
 4. 2 工事をより安全に実施するための取組み
5. 計画路線周辺にお住まいの皆様に安心してお過ごしいただけるように
 5. 1 工事の安全を確認する取組み
 5. 2 生活環境の保全に関する取組み
 5. 3 工事情報を適時お知らせする取組み
6. 今後について
7. ご連絡先

超電導リニアによる中央新幹線計画



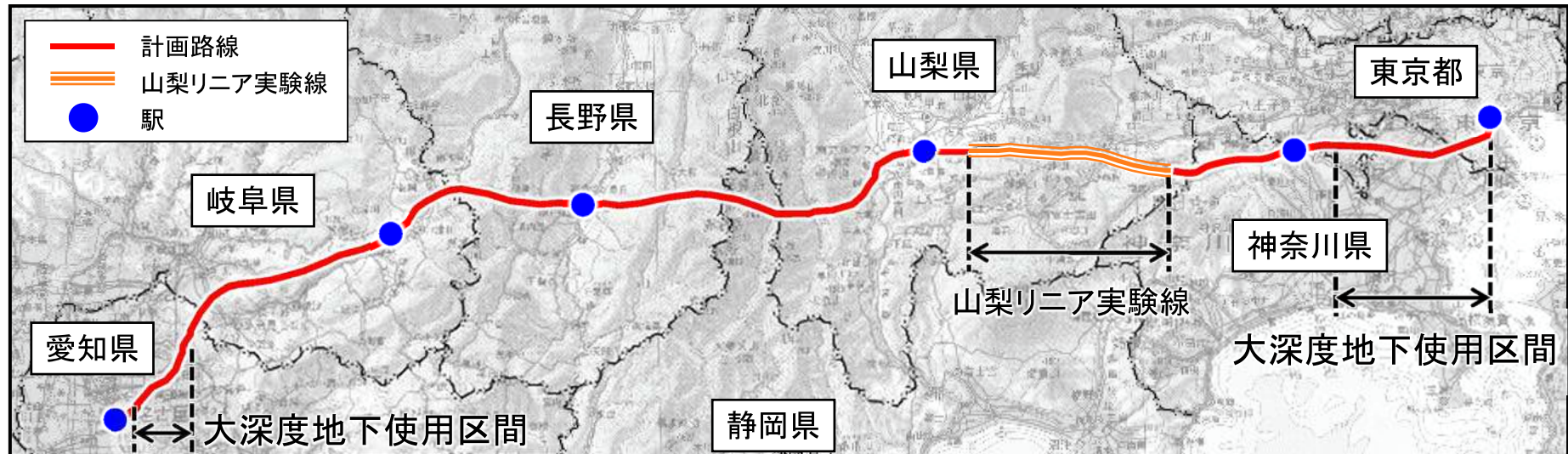
○目的：大動脈の二重系化

- ・開業後50年以上が経過した東海道新幹線の将来の経年劣化及び南海トラフ巨大地震など大規模災害に対する抜本的な備え

○効果：日本経済の活性化

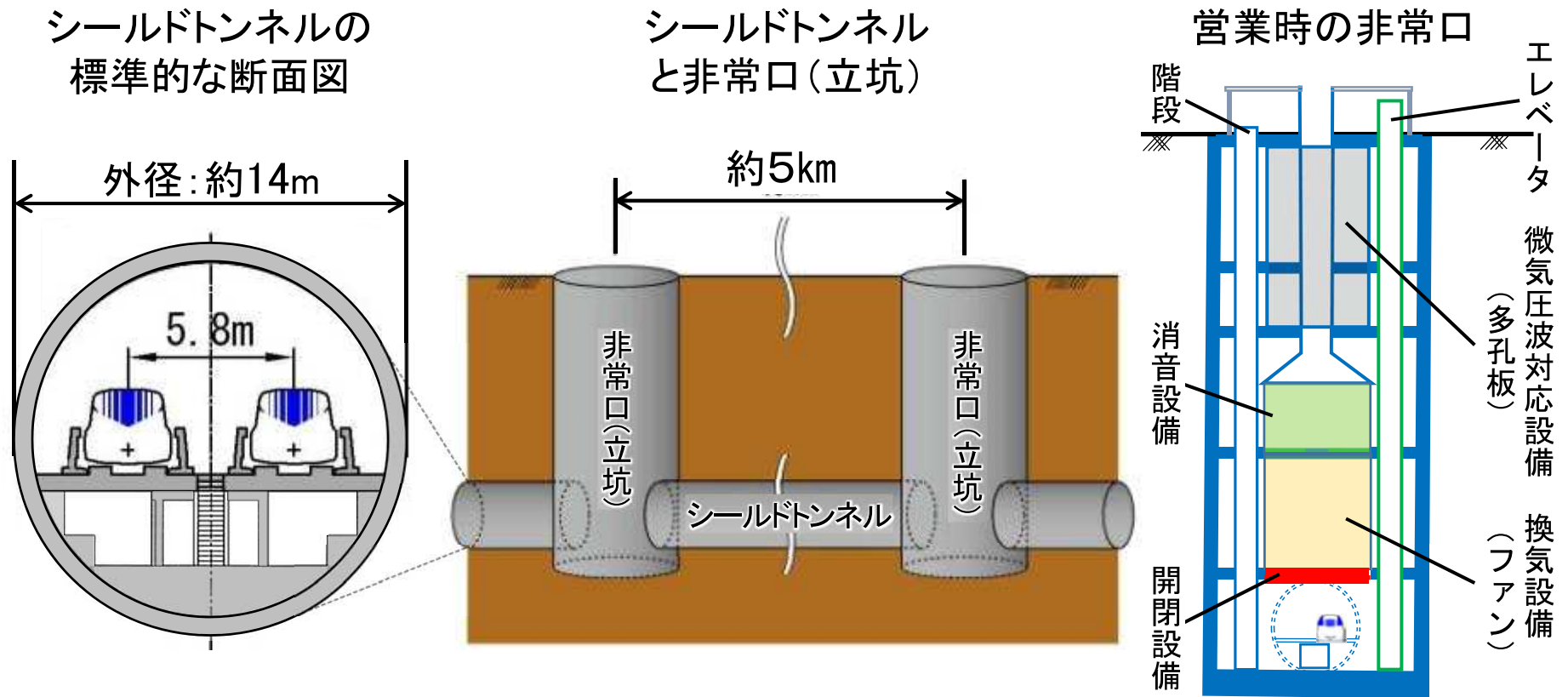
- ・巨大都市圏誕生。人口約6,600万人約1時間圏内
品川・名古屋 40分、品川・大阪 67分(最速)

中央新幹線品川・名古屋間の工事



- 平成26(2014)年10月、国土交通大臣から工事実施計画の認可
- 平成30(2018)年10月、国土交通大臣から大深度地下使用の認可
 - ・ 東京都、神奈川県、愛知県内の高度に市街化された地域では、土地所有者等による通常の利用が行われていない地下にトンネルを掘って路線を築く計画
- 令和元(2019)年12月、東京都品川区北品川にシールドトンネルを掘り始める地点となる北品川非常口が完成
- 令和3(2021)年6月現在、北品川非常口において、シールドトンネルを掘り始めるために必要な準備を実施中

都市部のトンネルは、円筒形のシールドトンネル



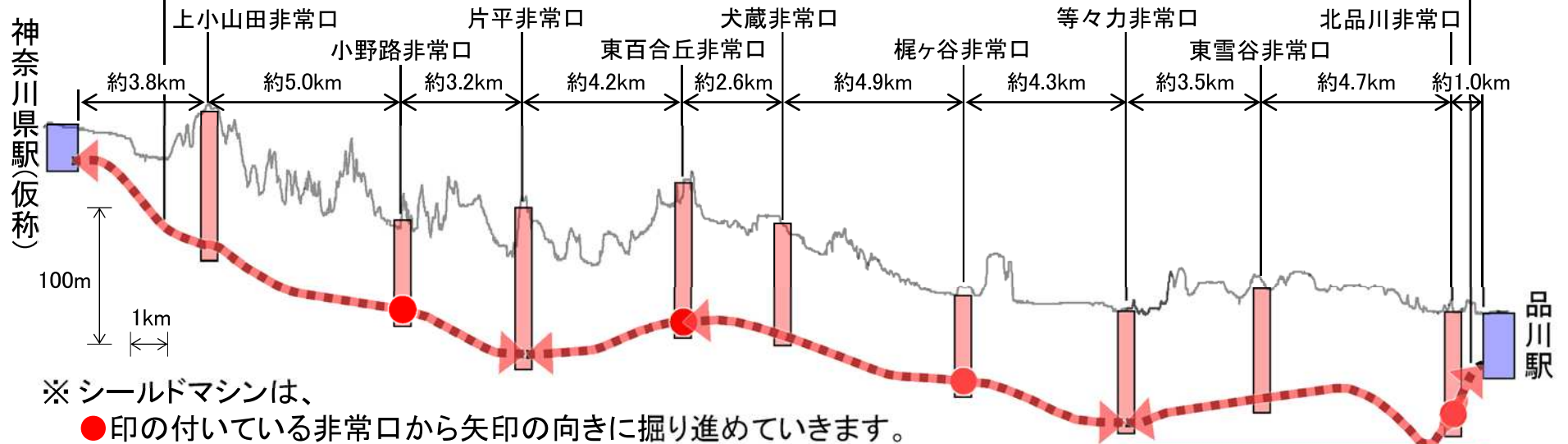
- ・ シールドトンネルは、外側の直径が約14mの円筒の形をしたトンネル
- ・ 立坑を約5kmの間隔で設置
立坑内でシールドマシンを組み立てて、隣ないしはその次の立坑まで掘進
立坑は、営業開始後には、非常口として異常時のお客様避難やトンネル内の換気、保守作業などに使用

中央新幹線品川駅・神奈川県駅(仮称)間の工事

第一首都圏トンネル 約37km



大深度地下使用区間 約33km



小野路工区	東百合丘工区	梶ヶ谷工区	北品川工区
-------	--------	-------	--------------